

検査受託中止のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記に掲げる検査項目におきまして、検査受託を中止させていただきたくご案内申し上げます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

- 最終受付日 2022年 3月 30日（水）ご依頼分をもって受託中止
- 検査受託中止項目

案内書 掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	備考
130	8C051	肺癌EGFR遺伝子変異解析Clamp	検査実施料削除に伴う委託先における受託中止

■代替項目

検査項目	判断料 実施料	採取量(ml) 必要量(ml)	容器	保存	検査方法	基準値	所要日数	備考
EGFR遺伝子変異解析コバスv2	遺染 2500	未染スライド 4~5枚(5μm厚) 又は パラフィン切片 4~5枚(5μm厚)		室温	リアルタイム PCR	検出せず	7~9	※注 OBB

※) 本検査に必要な腫瘍細胞含有率は10%以上です。
病理組織診断にて腫瘍が認められた部位をマーク(実線で囲む)したHE染色スライドを併せてご提出ください。
FFPE処理後12カ月以内、未染スライド作製後60日以内にご提出ください。
強酸による脱灰操作をした検体は検査できません。
ホルマリン固定検体では、固定条件によってDNAの断片化が著しく、解析不能な場合があります。

注)ホルマリン固定検体では、一般に推奨される固定液は10%中性緩衝ホルマリンです。固定時間の目安は、手術材料では室温で18~36時間、生検材料では室温で3~6時間程度です。4~5mm程度の厚さの組織として短時間で固定した後に切り出しを行うことにより核酸の断片化が改善されることがあります。

●コンパニオン診断薬として用いられる対象医薬品

測定対象	適応疾患	成分名	商品名
EGFR遺伝子変異	非小細胞肺癌	アフアチニブマレイン酸塩	ジオトリフ
		オシメルチニブメシル酸塩	タグリッソ
		ゲフィチニブ	イレッサ
		エルロチニブ塩酸塩	タルセバ
		ダコミチニブ水和物	ビジンプロ

●検出対象変異

Exon19欠失、L858R、G719A/C/S、L861Q、S768I、T790M、Exon20挿入

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは当社お客様窓口までお申し付けください。